

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます

決算審査特別委員会視察

10月11日

令和4年度事業のうち6事業を選定し、3班編成で現場視察を行いました。
○視察報告は、ホームページでご覧になれます。
○委員会報告と各会派の意見の要旨は、2面に掲載しています。

1班



誠之小学校 仮設校舎

現状の設備に加え、十分な収納、猛暑に対応した断熱性の確保等を要望する。今後の学校増改築は、児童数見込みに余裕を持たせ、ゆとりある設計・施工とすること。



目白台 運動公園

傷んでいた芝生が良好な状態であること、駐車場の舗装が改修されたことなどを確認した。斜面地は遊歩道を再整備し、安心して通行できるように適切に管理すること。

2班



神明都電 車庫跡公園

インクルーシブ遊具、耐震性に優れたトイレ、かまどベンチ、防犯カメラの設置等、安全・安心な公園が整備されたことを確認した。今後は、じゃぶじゃぶ池の利用期間延長を要望する。



だんござか ホーム

通所施設と併設されていることや、防犯対策について確認した。今後も地域に根差した障害者グループホームの設立を要望する。

3班



大塚地区 地域生活支援拠点

月平均300件ほどの多岐にわたる相談に対し、親身に対応していることを確認した。イベントの開催等により、地域の方と障害のある方とのつながりの方を望む。



小石川育成室

学習と遊びのバランスが取れたプログラムや、児童に合わせた個別の送迎対応等について確認した。今後も育成室の増設等により、待機児童解消に努めること。

令和4年度決算を認定

9月定例議会では、決算審査特別委員会を設置し、令和4年度一般会計を始めとする4決算報告を認定したほか、条例改正、令和5年度一般会計補正予算など区長提出の合計19議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
なお、議案に対する議決結果と各会派の賛否を2面に掲載しています。

9月定例議会

議会期間 9月5日から10月13日までの39日間
本会議第1日(9月5日)
*区長提出の18議案及び請願7件の審査を、それぞれ所管委員会に付託しました。
*18人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、区長提出の4決算報告の審査を付託しました。

本会議第2日(9月7日)
*代表質問(日本共産党、AGORA、公明党)………
本会議第3日(9月8日)
*代表質問(永久の会、市民自由民主党)………3面掲載
本会議第4日(9月11日)
*代表質問(日本共産党、自由民主党)………3面掲載
9月12日~9月25日
*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。………(4面掲載)
本会議第5日(9月27日)
*区長提出の18議案を、付託委員会の決定どおり可決しました。
*教育委員会委員の任期満了に伴い、小川賀代委員(再任)を任命することに同意しました。
9月29日~10月11日
*決算審査特別委員会で4決算報告を審査しました。………(下記表2及び2面掲載)
本会議第6日(10月13日)
*区長提出の4決算報告を、決算審査特別委員会の決定どおり認定しました。
*区長提出の追加1議案の審査を厚生委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。

審議した案件

▽区長提出案件 12件(可決)
事例………3件(可決)
予算………4件(可決、表1)
決算………4件(認定、表2)
▽請願………10件
〔10件の内訳は、今定例議会付託分7件、継続審査分3件〕
◇は継続審査分()は付託委員会不採択となったもの
○場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願(総務区民)
○消費税率5%への引き下げ

審議した主な案件(要旨)

区長提出案件
◎令和5年度文京区一般会計補正予算(第4回)
財政調整基金等への積立のほか、商店街振興対策事業に要する経費、放課後等デイサービス事業所等準備に要する経費、高校生世代育成支援金に要する経費、児童手当対象外世帯独自給付金に要する経費、医療機関等物価高騰対応事業に要する経費、学校給食費無償化事業に要する経費等を計上するものです。
※全ての議案は、2面に掲載しています。

【表1】 令和5年度 補正予算(9月)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第4回)	118,069,175	6,100,240	124,169,415
国民健康保険特別会計(第1回)	20,241,000	605,087	20,846,087
介護保険特別会計(第1回)	17,182,000	344,429	17,526,429
後期高齢者医療特別会計(第1回)	5,889,000	134,792	6,023,792
合計	161,381,175	7,184,548	168,565,723

【表2】 令和4年度 決算

会計別	歳入総額	歳出総額
一般会計	138,086,308,937	132,304,819,352
国民健康保険特別会計	20,104,635,777	19,524,384,887
介護保険特別会計	16,893,365,906	16,607,749,950
後期高齢者医療特別会計	5,921,412,772	5,788,561,097
合計	181,005,723,392	174,225,515,286

とインボイス制度の導入中止を求める請願
1項(総務区民)
○健康保険証の存続に関する請願(厚生)
○文京区における「まちづくり」の理念を明確にし、みどり豊かで閑静な住環境を守る「文の京」まちづくり基本条例(仮称)の検討を求める請願(建設)
(2面につづく)

決算審査特別委員会報告(要旨)

決算審査特別委員会では、委員長に豪一委員(自由民主党)、副委員長に宮野ゆみこ委員(市民)を選出し、9月29日から10月11日までの7日間にわたり令和4年度決算報告を審査しました。

総括質疑

問 財源確保と財政運営の工夫などについて伺う。

答 財源確保のため、都区財政調整交付金に係る特別交付金について、原油価格・物価高騰対応事業などの新規の財政需要を的確に捉え、積極的な新規項目の申請等により、約40億円を獲得した。

また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金において、感染症対応事業や原油価格・物価高騰対応事業に係る経費を積極的に交付申請した結果、追加交付を受け、財源の確保につながった。

次に、財政運営については、各部の予算執行状況を把握し、国や都の各種交付金の情報収集・分析に取り組んだ結果、歳出予算現額の執行率が前年より23ポイント増加した。

また、歳入予算現額における収入率についても、前年比0.2ポイント増加し、結果、実質収支比率が8%に改善した。

○一般会計―歳入(意見・要望)
ふるさと納税による特別区民税の流出を防ぐため、流出額や税金の使い道について、区民に確実に周知すること。

また、区の返礼品に区内企業が取り扱う日常使いの商品等を加えるなど、返礼品メニューの充実を図ること。

○一般会計―歳出(意見・要望)
①地域防災力強化の観点から、地域の至る場所で気軽に防災訓練が行われるよう、「災害用トイレの使い方」など、テーマを絞った訓練等を今後支援

すること。また、各地域の訓練取組事例について、情報共有を図ること。
②令和4年度に追加実施された町会・自治会事業補助金の10万円は、コロナ禍にあっても、町会・自治会が工夫して事業を実施する契機となったため、今後も継続を要望する。
③「Z世代×サステナ文京プロジェクト」は、情報の拡散力がある若い世代によって、SDGs等の理解が他世代へ広がるという高い啓発効果があった。次期「文の京」総合戦略でも、引き続き若者が参画した未来志向の目標設定にかなう事業を盛り込むこと。
④小石川地域に青少年プラザ「blab」機能を持たせた施設設置を検討すること。

自由民主党

コロナ禍における感染症対策に加え、原油価格や物価の高騰等に迅速に対処するなど、社会環境の変化に適切に対応し、区民や事業者に寄り添った施策を展開した。また、特別区税等の税収確保や都区財政調整交付金、国の交付金等を活用し、適宜補正予算を組んで経済の底上げを図ったことを高く評価する。子育て支援や高齢者支援を始め、学校施設や区有施設の整備、光熱費や物価高騰の経済支援、災害対策等、将来を見据えた財政運営の安定的な維持に期待している。我が会派の委員が指摘した事項の実現を要望し、4会計決算を認定する。

令和4年度は、コロナ感染拡大と物価高騰の中でも、区財政は堅調に推移し、総基金は636億円にもなりました。これからも物価高騰は続きます。地域経済の回復やコロナ対策等、区民の命、暮らしを守ることを最優先に。今後100億円以上もかかるシビック改修は一旦凍結し、老朽化した区施設の改修・改築を急ぐこと。一般会計、3特別会計は認定しない。

AGORA
シニアフィットネス事業、給食無償化実現、保育所持機児童ゼロ達成を評価。さらに、育成室増設、小石川図書館と竹早公園一体整備の早期着工、無電柱化工期短縮、B1ぐる第4路線、街路樹の管理と美化、子どもの権利と性被害防止、前立腺がん検診導入、介護保険料抑制、放課後等デイ、病児・病後児保育、ベビシッター等子育て支援事業の充実を要望し4会計決算を認定。

公明党
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、感染症対策や経済対策など区民の健康と暮らしを守るために様々な社会変革に対応しつつ、適切に予算を執行したものと評価する。今後も区民生活の向上と地域経済の復興、地域コミュニティの再構築を図られることを望み4会計決算を認定します。

維新の会
コロナで痛んだ暮らしや経済を本格的な回復軌道に乗せるためには、積極的な経済活性化、教育、医療、福祉の強化、都市インフラの整備が必要である。
今後の積極果敢な施策展開に大いに期待する。
職員各位の働きに愛と感謝を捧げつつ、令和4年度4会計決算全てを認定する。

維新文京
ヤングケアラーコーディネーター育成、障害者就業支援推進、高齢者見守りあんしん事業強化、公園児童遊園面積拡大、受動喫煙防止対策強化、防災用消火器設置増進、区立中学制服費補助、育成室増設等を求め4会計決算を認定。

文京子育て
学校改築短縮へ公園活用・子どもの権利条例研究加速・不登校対策は親支援も・ネットワーク見直しオムツ定期便を・ベビシッターは小学3年生に拡充・保育園選考見直し・職員食堂残せ・防災食捨てるな・等、指摘し、4会計認定。

市民
育成室、放課後等デイサービス、障害者グループホームの早急な整備、ベビシッター事業の充実、困難を抱える方への生活、学習、居住の支援を求める。一般、国保介護保険会計は認定し、後期高齢者医療会計は認定しない。

以上、審査の結果、4会計の決算報告を認定しました。

請願

(1面のつづき)
○小・中学校全学年において早急に少人数学級の実現を求める請願 (文教)
○「グリホサート農業の入っていない安心安全な学校給

食の提供を求める請願 (文教)
○小学校で「ゲノム編集の野菜」を栽培させない、食べさせないことを求める請願 (文教)
◇「区民の声」は「要望」と「意見」を区別して、回答するよう求める請願(総務区民)

継続となったもの
◇適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施延期を国に要望することを求める請願 (総務区民)
○消費税率5%への引き下げとインボイス制度の導入中止を求める請願 (総務区民) 2項(総務区民)

◇「文の京」自治基本条例の抜本的な見直しの検討を求める請願 (総務区民)

令和5年9月定例議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

Table with columns for item name, committee, and voting results (賛成, 反対, 結果) for various proposals.

会派の略称: 自…自由民主党文京区議会、共…日本共産党文京区議会議員団、A…政策チーム AGORA、公…公明党文京区議団、永…文京永久の会、維…日本維新の会文京区議団、子…ぶんぎょう子育て・ネット、市…市民フォーラム、都…文京区議会都民ファーストの会、根…文京根っこの会

代表質問 (要旨)

日本共産党 関川 けさ子

日本共産党 千田 恵美子

AGORA 海津 敦子

公明党 宮本 伸一

永久の会 西村 修

市民 宮野 ゆみこ

自由民主党 山田 じゅん

自由民主党 松平 雄一郎

介護保険制度について

問 利用料2割負担の対象拡大、65歳以上の一定所得のある人の保険料引き上げ、要介護1、2の生活援助等の保険給付外し等に対する区の認識とともに、利用者負担増の実態について伺う。

問 都の地下水概況調査で、区内井戸水から国の暫定指針値を超えるPFASが検出されたが、原因を調べるべき。

問 4月の区長選で、対立候補から「成澤区政には、弱者に寄り添う視点が欠如している」と指摘を受けたが、なぜだと思ふか伺う。

問 産後ケア利用料の減免対象拡大を、子ども家庭庁による新たな補助金を活用することで、非課税世帯以外の家庭にも利用料の減免対象を拡大し、利用を促進すべきと考えるが、区の見解を伺う。

問 私と近隣の仲間が自主管理する大塚公園の花壇では、竹炭を土に撒くことで土中環境から改善する取組を始め、花壇の花は元気一杯に咲いている。どの公園も雑草を抜き、落ち葉が完璧に掃かれ、木も花も元気がない現状だが、区はこういった土壌改良を含めた土中環境の整備についてどう考えるのか、伺う。

問 今後、文京区子どもたちの教育に、生成AIをどう活用していくのか、区立中学校での評価基準の検討や教員への研修も含め見解を伺う。

問 AIを使った英会話練習アプリの導入を、AIを使った英会話練習アプリは、時間と場所に縛られず、一人でも楽しく会話練習ができ、発話量を促す。アプリの導入について伺う。

問 少子高齢化の進展等で歳入に影響があっても、施設整備ができなくなることや福祉・子育て・教育のサービス低下はあってはならない。必要なサービスを安定的に提供するため、適切に基金を積み立てる必要があるが、伺う。

戸籍住民課窓口の民間委託について

問 戸籍証明書発行業務委託は検証の上、直営に戻すこと。区長 事業評価の各項目で適正に業務が遂行されており、利用者アンケートの評価も高い。直営に戻す考えはない。

弾力運用の用途について

問 区内私立保育園に支払う保育委託費が保育に使われず、弾力運用として事業者の本部経費等に使用されていることが分かった。区はその用途を知る権利があると思うが伺う。

区立中の標準服。本当に着なくちゃいけないのか

問 校則で標準服の着用が明記され指導の対象だが、辞典では「制服と異なり、常時着用」に留まる」とある。標準服を着るかどうかの判断を生徒自身・家庭にゆだねることをどう考えるか伺う。

フリースクールの費用助成制度導入

問 フリースクールは経済的負担が大きく、昨年度も費用助成制度の導入について質問したが、区の検討状況を伺う。

神田川での観光誘致開発について

問 文京区の南側には神田川という素晴らしい水路がある。大阪の道頓堀川やタイ・バンコクの水路観光事業を参考に、水路沿いの店舗の充実やライトアップ、観光船導入などの観光事業に取り組みむべきと考えるが、区の見解を伺う。

未就園児の定期的な預かり保育の拡充を

問 モデル事業として開始した未就園児の預かり保育を拡充し、保育回数を増やす等、自宅保育家庭のリフレッシュを促進、利便性向上を図るべき。

公園・児童遊園に特性を

問 500㎡より狭い公園、児童遊園について、犬を走らせられる場所、健康器具のみの場所、球技ができる場所等、目的別の整備を提案するが伺う。

保育園の経営支援について

問 閉園を迫られた保育園に対して、混乱を避けるためのサポートや、事業者に対する緊急的な支援等、区はどのような支援ができるのか伺う。



湯島総合センターの改築等について

問 「民間委託のサウンディング調査は止め、区が方向性を決めるべき。」「旧サッカー協会の土地は調査対象外とすべき。」「などの意見に対する見解は。」

国有地は福祉活用すべき

問 白山4丁目国有地は、不足している高齢者施設として活用すべきだが伺う。

子どもの意見を聴かない、驚く「その理由」

問 性交も含む包括的性教育を、義務教育の発達段階に応じて教えてほしいかどうか、子ども・子育て支援に関する実態調査の中で、保護者・子どもに質問してはどうか伺う。

高齢者と障がい者の共生型施設

問 今後、障がいのある方が住み慣れた文京区で、高齢の親と一緒に生活できる共生型の施設に取り組むことを望むが、区の見解を伺う。

子ども・若者の性被害防止

問 性被害防止対策として、

「高齢者」を「好齢者」に

問 文京区では高齢者を「好齢者」と書き換えて、高齢者

不登校対策について

問 「学びの居場所架け橋計画」について、来年度、早急に希望校全校実施に向けた拡充を行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

基金の適切な積み立てを

問 少子高齢化の進展等で歳入に影響があっても、施設整備ができなくなることや福祉・子育て・教育のサービス低下はあってはならない。必要なサービスを安定的に提供するため、適切に基金を積み立てる必要があるが、伺う。

区長 民間事業者との直接対話により意見集約するサウンディング調査は、行政では気づきにくい課題の把握等に効果的であり、日本サッカー協会跡地は調査対象外である。引き続き、近隣町会等の意見を丁寧に向いながら検討する。

区長 様々な行政需要等を踏まえ活用について検討しており、今後、地域との意見交換も行いながら、検討を進める。

区長 様々な意見があり、扱い方は慎重に検討すべきなの

区長 地域共生社会の実現に向けて取り組むにあたり、障

害のある方とその家族が住み慣れた地域で生活できる環境の整備は重要であると考えており、引き続き研究する。

区長 本モデル事業は、多くの利用希望があり、今後、実施方法を拡充する。実施方法等は、国や都の方向性や本事業の検証を踏まえ、一層利用しやすくなるよう検討する。

区長 公園再整備は、利用者の要望等を聞きながら進めてきた。今後、地域特性等を丁寧に示し、小規模公園が集まるエリアの際は、各公園の機能分担についても意見を聞く。

区長 閉園相談があった場合、保護者全員の同意が得られるまで運営を継続するよう指導している。なお、在籍児童が卒園や転園するまでの運営支援については研究する。

会派の正式名称

日本共産党…日本共産党文京区議会議員団、AGORA…政策チーム AGORA、公明党…公明党文京区議団、永久の会…文京永久の会、市民…市民フォーラム、自由民主党…自由民主党文京区議会

委員会活動

常任委員会

9月定例会議会の議会期間のほか、7月25日に厚生・文教委員会をそれぞれ開催しました。

総務区民

9月22・25日報告事項10件 報告に対する主な意見等

令和5年度「文の京」総合戦略の進行管理の実施結果が報告された。戦略点検シートは、主要課題ごとに事業成果等が分かりやすく記載されており評価するが、行財政運営点検シートは更新されているとは言い難い箇所もあるため、次年度は分析や検討の過程等が効果的に見せられるよう資料を改善すること。

次期「文の京」総合戦略の策定に当たり、区報特集号やオープンハウス型説明会等により、多様な意見の把握に努めていることが確認できた。主要課題(案)は、本区を取り巻く社会状況の変化等を踏まえ、新たな課題等を抽出・整理し、組織横断的な取組を考慮した中で、現戦略シートの改定を行うこと。

文京シビックホールリニューアル記念事業の結果が報告された。中村勘九郎氏、中村七之助氏の名誉館長就任



報告内容、審査の過程で出された主な意見・要望です。

い助成を検討すること。

記念特別公演は盛況であったが、空席が目立つ事業も見受けられた。今後、SNS等による空席情報の配信やふるさと納税返礼品としての活用等、販売促進に向けた検討を積極的に進め、地域の賑わいに貢献する施設とすること。

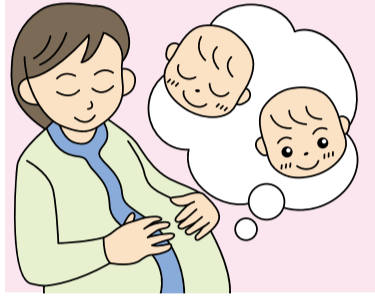
厚生

7月25日報告事項2件 9月19日報告事項3件 10月13日報告事項1件 報告に対する主な意見等

新たな地域福祉保健計画の検討状況について報告された。計画の検討に当たっては、来年度改定される「文の京」総合戦略との整合を図るとともに、地域福祉推進協議会委員に総合戦略との関係性を分かりやすく示しながら、議論を進めること。

また、事業の実施主体、関連部署等の明記により、横の連携の見える化に努めること。高齢者・介護保険事業計画の改定に当たっては、今後ますます増加が見込まれる単身高齢者に対する見守り支援や認知症への対応等を計画に位置付け、支援体制の整備等により、すべての高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らし続けられる地域づくりに努めること。

双子などの多胎妊婦の健診費用を19回まで助成することが報告された。多胎妊婦は通常より多くの検診が推奨されるため、様々な面で負担が大きい多胎妊婦への経済的な支援を評価する切れない子育て支援の一環として、今後、回数制限のな



建設

9月21日報告事項5件 報告に対する主な意見等

後楽二丁目地区まちづくりの南地区では、オフィスや住宅等が入る地上35階建ての複合施設のほか、賑わい形成や災害時の防災拠点となる北東広場・駅前広場が整備される。現状、後楽二丁目周辺で勤務する方々は、勤務後に飯田橋方面に移動し、飲食店等を利用している。再開発後は、北東広場・駅前広場が沢山の人で賑わう場所となるよう、賑わい創出の拠点となる商業施設を計画すること。

また、飯田橋駅と駅前広場の間には、飯田橋交差点を横断する歩行者デッキの整備が計画されているが、エレベーターや休憩用ベンチの設置など、バリアフリーに配慮した



計画とすること。前年度のごみ収集量等集計結果と、令和7年度から実施するプラスチック分別回収事業の概要が報告された。プラスチックごみ等がしっかりと分別されれば、可燃ごみの収集量はかなり少なくなる。区民一人ひとりに、ごみ減量に取り組んでいただくためにも、各家庭の削減目標を「見える化」するなど、分かりやすい周知を検討すること。

文教

7月25日報告事項1件 9月20日報告事項3件 報告に対する主な意見等

令和7年4月以降に幼稚園から移行する4園の幼稚園型認定こども園について、運営方法、教育・保育の内容、延長保育等の概要が報告された。幼稚園型認定こども園は、保育士資格を持つ幼稚園教諭が1歳から5歳までの子どもを預かり、保育及び幼児期の学校教育の総合的な提供を実施する。子どもが成長する過程において大切な時期に当たるため、保育に必要な研修体

7月25日、9月5日・15日・27日、10月13日に開催しました。ICTを活用した議会情報

- 「主な協議事項」
・9月定例会議会提案事項について
・9月定例会議会追加提案事項について
・決算審査特別委員会について
・9月定例会議会追加提案事項について
・意見書について
・教育委員会委員任命の同意について
・人権擁護委員候補者の推薦に係る議会の意見聴取について
・11月定例会議会について

制の整備とともに、適切な人員配置等により、運営に無理を生じさせない体制の構築に努めること。

また、これまでの経緯から、現場の負担が大きくなることも予想されるので、保育士や幼稚園教諭等から広く意見を聞き、開設に向けた準備を進めること。さらに、現在通園している子どもの保護者に対し、丁寧な説明と情報提供等により、認定こども園への移行に係る不安解消に努めること。

また、今後の待機児童数や子どもたちの状況により、0歳児クラスを設けることや他の用途への転用・運用を想定した設計とすること。



議会運営委員会

ICTを活用した議会情報

会議録 速報版をチェック!
会議録の「速報版」を、文京区議会ホームページに掲載しています。
掲載時期: 本会議...各定例議会の最終日から4週間程度
委員会...開催日から3週間程度
文京区議会 速報版 検索

特別委員会

自治制度・地域振興調査

9月13日 報告事項3件 報告に対する主な意見等

令和5年の地方分権改革に関する国への提案については、特別区として3件提案されたが、本区からは提案に至っていない状況である。本区が抱えている行政課題の中には、法律等の規制緩和により解決できるケースもあるため、各部署の問題となつている事例をしっかりと調査・把握するとともに、提案する際は確実な採用となるよう、国との事前調整に尽力すること。

内部統制制度の更なる充実を図るため、職員に向けた制度の手引策定とともに、内部統制に関するリスクマネジメント研修を新たに実施したことが報告された。日々、業務に追われている現場の職員は、自分の仕事にリスクを抱えているという認識がない可能性がある。個人情報等の流出や不適切な経理処理等のリスクを未然に防ぐためにも、現場の職員一人ひとりと内部統制の方針等を共有するとともに、繁忙期であってもダブルチェックが必ず行える体制となるよう、人員配置を含めた適切な職場環境の整備に努めること。



災害対策調査

9月14日 報告事項1件 報告に対する主な意見等

文京区地域防災計画(平成30年度修正)の取組状況が報告された。福祉避難所については、現在の25か所という規模を更に拡充するとともに、開設運営訓練の実施回数を増やすことを検討すること。また、移動が困難な避難行動要支援者が福祉避難所へ直接避難できるよう、引き続き関係者との調整を進めること。

避難所によっては、避難者数が収容人数を上回ることで想定される。区内の高校、大学、旅館、ホテル等との協力体制を強化し、二次的避難所及び帰宅困難者の一時滞在所となる確保に取り組むことが報告された。中高層共同住宅等のエレベーター閉じ込め対策経費助成は、助成額を3万円から7万円に拡充して利用促進に取り組んでいる。実績を更に伸ばすため、港区のように、先に防災グッズを現物配付するなどの方法により、その後の訓練につなげる取組も検討すること。



子ども・子育て支援調査

9月12日 報告事項4件 報告に対する主な意見等

未就園児の定期的な預かりモデル事業(こども誰でも通園制度)の実施施設の追加について報告された。応募者が非常に多く、極めてニーズの高い事業である。今後、当事業が実施可能な園を調査するとともに、利用者アンケート等の分析を進め、国等の動向を見据えつつ、私立認可園や幼稚園等への展開を検討すること。

また、今回の追加実施を含め、当事業から得た課題等は、適宜、国等に要望すること。施設整備の積極的推進、保育の質の向上、待機児童のサポートを3つの柱とする育成室待機児童解消加速化プランが報告された。区内の児童館・育成室を統括するエリアマネージャーの新設や、児童館へのランドセル来館等、新たな取組に現場が確実に対応できるよう、体制等を整備すること。また、育成室では補えない多様なニーズに対応する都型学童クラブの新規開設を積極的に促進すること。さらに、待機児童解消に向けた各種ニーズ量の見直しや、スケジュールを含めた具体的な目標数値の検討を進めること。

